

# 牧草と園藝



# イラン，トルコの 農業および牧草遺伝資源寸描

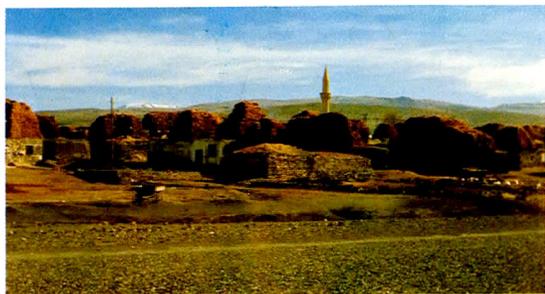
農林省草地試験場 川 端 習太郎

## III トルコ東部，西部



III-1 黒海沿岸の綿羊放牧地

ヨーロッパ，アジアの両州にまたがる黒海沿岸地方は雨量も多く，緑豊かな風景がつづく。この放牧地にはイネ科，マメ科，キク科など多くの植物が混存しているが，強い放牧がなされているので，少しはなれて見ると，見事な芝生にみえる。



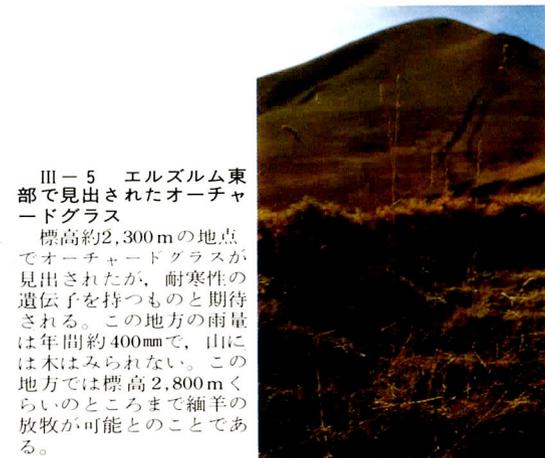
III-4 エルズルム近郊の農村風景

土で作られた家の屋根には冬の家畜の飼料が高く積まれて保存されている。この地方はかなりの厳寒地（標高約2,000m，1月の平均気温は $-8.6^{\circ}\text{C}$ ）で，このような粗飼料の保存は，家の保温にも役立つと思われる。部落の中央には回教寺院のジャミールがみえる。



III-2 イズミル農業試験場におけるソルガム育種試験

イズミルの農業試験場では，小麦，大豆，バレイショ，牧草などの育種も行なっている。またトルコ各地の植物遺伝資源の収集と保存を行なっていることも有名である。



III-5 エルズルム東部で見出されたオーチャードグラス

標高約2,300mの地点でオーチャードグラスが見出されたが，耐寒性の遺伝子を持つものと期待される。この地方の雨量は年間約400mmで，日には木はみられない。この地方では標高2,800mくらいのところまで綿羊の放牧が可能とのことである。



III-3 マルマラ海沿岸の綿羊放牧風景

トルコの綿羊品種はアッカラムン（写真に示す），モルカラマンが主であるが，メソノもかなり飼育されているようである。



III-6 アタテウルク大学における牧草研究

トルコ建国の父アタテウルクの名をとった大学がエルズルムにあり，その研究水準はきわめて高い。多数の研究者が，米，英，独などに留学してきており，日本との交流にも強い関心を持っているようである。写真は，条播により混播草種の比較研究を行なっているところ。